



コミュニティ・スクール通信



たから

～あいさつの響き合う家庭・学校・地域づくり～

今年もやりました「地域でチャレンジ！」

今年は20名の生徒が参加して、企画から運営までやりとげ、公民館まつりを盛り上げてくれました。子どもたちの斬新なアイデアに驚かされ、仲良く活動する生徒の輪に大人も入り一緒に楽しませてもらいました。

収益に関しましては、子どもたちが考え、学校の環境整備に役立てたいと思っています。フリーマーケットでは、地域や家庭、先生方からもたくさんの物品を提供していただきました。本当にありがとうございました。



全員集合！はい、ポーズ！



薪をかこんで

学年行事におじゃましました（外江小・6年生）

外江小学校の体育館で一泊二日の学年行事が行われました。子どもたちは防災学習、カレー作り、火起こし体験、お化け屋敷など様々な体験をしました。企画、準備をされた役員の方々はとても大変だったと思いますが、PTAOBの方の協力も得て無事に終えることができました。「大変だけどやってみよう！」「子どもたちのいい思い出になれば。」と一生懸命に動く大人の姿を子どもたちも見ていると思います。一生の思い出に残る学年行事でした。



渡小6年生：地域の大人や高校生と自分の人生グラフをもとに1対1で話しました。



子ども熟議：三中生、渡小6年生、外江小6年生が集まってテーマにそって自分の考えを話しました。

対話

最近、「対話を重ねる」「対話の重要性」という言葉をよく耳にします。調べてみると、会話には明確な目的やゴールがなく、対話では何かしらのテーマに基づいて意見を述べあうこととありました。対話を重ねることで、相手のことが少しずつ理解できるようになっていき、同時に自分自身がどんなことを考えているかも明らかになっていきます。こうしたことを繰り返し行うことで、聞く力、伝える力、相手のことを分かろうとする力がつくのかなと思います。まずは、子どもたちの話を聴いてみてください。けっこういろいろな考えをもっていて楽しいですよ。

文責：高梨典子（地域学校コーディネーター）